

『幼児の教育』平成二十三年総目録

◇第一号

月刊『幼児の教育』特別号のモチーフ(1)

折り返し地点から振り返る 浜口順子

『幼児の教育』にかけた思い(1)

子どもたちと未来をつくっていくための雑誌として 田代和美

特集『幼児の教育』アーカイブズ集1

倉橋惣三の『省察』に学ぶ 佐治由美子

園のくらしを育む10 秋田喜代美

保育の現場から 地域に生きる 佐藤キミ男

◇第二号

月刊『幼児の教育』特別号のモチーフ(2)

『保育史』という視点を日ごろの保育に 浜口順子

『幼児の教育』にかけた思い(2)

倉橋惣三氏の遺産を継いで 本田和子

特集『幼児の教育』アーカイブズ集2

保育実践者による語りや記録 塩崎美穂

園のくらしを育む11 秋田喜代美

保育の現場から「こわれること」と「新し

く始めること」

宮里暁美

◇第三号

月刊『幼児の教育』特別号のモチーフ(3)

新しいスタートへ 浜口順子

『幼児の教育』にかけた思い(3)

特集『幼児の教育』の果たしてきたこと 津守真

雑誌は時代と共に、人と共に 菊地知子

園のくらしを育む12 秋田喜代美

保育の現場から 縁という細い糸 永倉みゆき

季刊化にあたり

◇春号

特集 問い直そう、保育の中のアたりまえのこと1 「子どもの視点に立つ」とは?

座談会―前原 寛・宮里暁美・浜口順子

子どもの視点に立つということ 友定啓子

「子どもの視点」に立つ 嶺村法子

子どもの目の高さに立つ? ―スコットラ

ンドで考えたこと―

小玉亮子

大阪市立愛珠幼稚園

宮里暁美

保育事例をめぐる対話

いなくなつたカメのチュウをめぐつて

佐藤寛子

カメがつなぐ―幼稚園と小学校のあいだ―

神戸佳子

カメのあとについて行く 佐治由美子

倉橋惣三の「子どもの生活」論に、保育評価

の手がかりを探る 児玉衣子

園のくらしを育む13 秋田喜代美

ツブキ先生の虫のつぶやき植物編

―スマレを取り巻く虫たち― 津吹卓

保育家具に携わつて 渡辺晃男

子どもたちと出会う私

西隆太郎・伊藤美保子

アーカイブズ散策(1)

百年前の入園風景 浜口順子

◇夏号

大震災を受けて 浜口順子

特集 問い直そう2

子どもの「やりたい」という気持ち

座談会―安部富士男・佐藤寛子・浜口順子

子どもの「やりたい！」とは？

溝口義朗

アート活動の「やりたい」をどう見るか

八木紘一郎

「自分から」することの意味

西原彰宏

川崎市子ども夢パーク
保育事例をめぐる対話

N子とヒマワリの種

種を蒔き、芽生え

気ままな園芸生活のススメ

倉橋惣三の「子どもの生活」理解を
探る

上坂元絵里
清水永一
森光康次郎

園のくらしを育む14

虫のつぶやき植物編

―虫を呼ぶカラスウリ

の花のテクニク―

津吹卓

第26回O M E P世界大会inスウェーデンに

参加して

ミンダナオの子どもたち、日本の若者たち

片山知子
松居友

アーカイブズ散策(2)

関東大震災直後の記事から

自己評価

浜口順子

特集 問い直そう3

「子どもに寄り添う」とは？

座談会―岩崎禎子・吉岡晶子・佐治由美子

子どもに「寄り添う」とは？

感性を育む環境づくりの中で

子どもと大人の具体的な生として

木の花幼稚園

保育事例をめぐる対話

虫を探している時間

重なり合う時間

『幼児の教育』誌の現代的意義を考える

倉橋惣三の「子どもの生活」理解を
探る

園のくらしを育む15

虫のつぶやき植物編

―秋の困ったッひつつ

き虫、センダングサの作戦―

子どもがいきいきと遊ぶ保育

き虫、センダングサの作戦―

子どもがいきいきと遊ぶ保育

子どもがいきいきと遊ぶ保育

子どもがいきいきと遊ぶ保育

子どもがいきいきと遊ぶ保育

子どもがいきいきと遊ぶ保育

子どもがいきいきと遊ぶ保育

座談会―岩田純一・伊集院理子・菊地知子

小さな子の中にいて、仲良しを
考える

家族での子どもをめぐる関係
を考える

「仲良し」に歴史あり

加藤美帆

柴坂寿子

高橋陽子

保育事例をめぐる対話

チョークでアート

幼稚園でアートが生まれる時

チョークによる探索活動

―呼びかける

こと、応えること―

郡司明子

倉橋惣三の「子どもの生活」理解を
探る

園のくらしを育む16

虫のつぶやき植物編

―冬の花ヤツデの「よ

い子」を作る戦略―

風景を失うことの意味

―陸前高田と原風景

をめぐって―

保育者の「養護性」はどのように
形成された

のか